平成29年度
京都女子大学大学院教員一覧

京都女子大学大学院

博士前期課程・後期課程

国文学専攻

江富　範子　教授**

■国文学 、上代日本文学（萬葉集）
●萬葉集の研究／中世萬葉集研究／
萬葉集本文研究

□楽浪の歌―近江荒都歌第二反歌をめぐって―
□天武天皇御製歌の位置
□人麻呂歌集の使者の歌
―「道行く人」（二三七〇番歌）をめぐって―

大谷　俊太　教授***　［博士（文学）］

■中世・近世国文学
●中世・近世宮廷文学の研究／
室町末・近世初期近衛家の文事／
和歌／連歌／狂歌／俳諧研究

□新出・新潟吉田文庫所蔵
『心敬難題百首自注』について
□三藐院近衛信尹筆［笑話書留］について
□後水尾院・後西院述、近衛基熙記、
諸道聞書『御手扣』解題と翻刻
□伊勢物語と旧注
―宗祇・三条西家流注釈の論理―

坂本　信道　教授**　（博士後期指導補助教員）

■平安時代の文学
●平安時代物語の研究／日記文学の研究／
古注釈書の研究

△『えせ兄妹攷
―浜松中納言と吉野姫君の恋物語と構想』
□カタカナ表記『土佐日記』の登場と意義
―貫之評価の視座から―
□芥川の「王朝」
□写本における「无」文字消長
―藤原定家自筆本を中心に―

田上　稔　教授**［博士（文学）］（博士後期指導補助教員）

■国語学
●連体修飾／準体法／方言

□京都女子大学図書館所蔵『神代紀』（吉澤文庫）
影印・翻刻及び解説
□万葉集の準体句―ク語法と準体法連体形と―
□準体法の系譜

滝川　幸司　教授***　［博士（文学）］

■平安文学、和漢比較文学
●平安朝漢文学研究／菅原道真研究／
儒者・歌人伝記研究

△『菅原道真論』
△『菅家文草注釈文章篇第一冊（巻七上）』
□橘広相考一～四

中前　正志　教授***

■国文学
●宗教説話と説話文学の研究／
中世仏教文学の研究／
国文学と神仙思想・道教の関係についての研究

△神仏霊験譚の息吹き
□京都女子大学図書館所蔵『紫明抄』残巻
□となりの仙人―仙薬逍遙―

普賢　保之　教授*

■真宗学
●親鸞教義学の研究／本願寺における教義の伝承／
高田における教義の伝承

□浄土真宗における自死の問題
□覚如上人における法然聖人・親鸞聖人の受容
□親鸞における経典観
□法学教学の伝承

峯村　至津子　教授***　［博士（文学）］

■日本近代文学
●明治期の文学／樋口一葉／泉鏡花

△新日本古典文学大系明治編『翻訳小説集 一』
△『一葉文学の研究』
□泉鏡花「外科室」の語り手
―天なく、地なく、社会なく―
□泉鏡花「外科室」の口絵
―「外科室」注釈序章―

山﨑　ゆみ　教授**　［博士（文学）］

■日本近世文学・演劇
●江戸時代の文学・演劇／近松門左衛門／
井原西鶴

□「一閑坊の案内」考
―『男色大鑑』巻七の五における工夫―
□お吉と与兵衛の「救い」のゆくえ
―近松『女殺油地獄』と親鸞―
□「岡田左馬之助といふ風流者」考
―『男色大鑑』巻七の五における工夫（二）―
□「『出世景清』第二段「清水寺轟坊の場」注釈
再考―双六用語の秀句における近松の工夫―」

英文学専攻

石田　秀雄　教授***

■英語教育、英語学
●冠詞を中心とする文法の指導／
グローバル社会における英語の役割と公平性について

△『わかりやすい英語冠詞講義』
□英語冠詞の習得と指導に関する理論的考察
□グローバル社会における外国語教育のあり方
□英語教育における文法指導の役割

甲斐　雅之　教授**

■学習英文法、英語語法研究
●語法研究／辞書記述 ／学習英文法

□副詞要素が後続するif onlyの
学習用英和辞典における記述について
□英語構文拾遺―so much so thatについて
□Travel-guide textにおける場所句倒置文と
非倒置文について

金澤　哲　教授***　［博士（文学）］

■アメリカ文学
●20世紀アメリカ文学、特にウィリアム・フォークナー

△『フォークナーの『寓話』―無名兵士の遺したもの』
△編著『アメリカ文学における「老い」の政治学』
△編著『ウィリアム・フォークナーと老いの表象』

鴨川　啓信　教授***

■英文学
●物語の語り直しとアダプテーション

△グレアム・グリーンの小説と物語の繰り返し
□物語アーカイヴスの拡大
―「シャーロック・ホームズ」物語を事例とした考察―
□Hamlet Updated
―舞台変更による物語更新について―

佐伯　恵子　教授***　［博士（文学）］

■アメリカ文学
●T.S.エリオットの詩劇・詩／アメリカの小説や劇

△『T.S.エリオット詩劇と共同体再生への道筋』
△『モダンにしてアンチモダン T.S.エリオットの肖像』
□混沌の自画像―T.S.エリオットの殉教詩―
□「女嫌い」「女殺し」の系譜
― T.S.エリオット作品の女たち―

下村　伸子　教授**　（博士後期授業担当教員）

■アメリカ文学
●Emily Dickinson／Marianne Mooreの詩／
19世紀から現代にかけてのアメリカ詩

△（共著）『私の好きなエミリ・ディキンスンの詩』
□エミリィ・ディキンスンの「寂しい風景」
□「散文より美しい家」と「想像の庭」
―アメリカ詩人エミリィ・ディキンスンとマリアン・ムーア―
□エミリ・ディキンスンの「断念」の詩
―「より大きな機能」を垣間みて―

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文（その他著書・論文についてはHPを参照してください）
＊＊＊は博士前期・後期指導教員　＊＊は博士前期指導（補助）教員　＊は博士前期授業担当教員

高橋　勝忠　教授＊＊＊

■英語学、日本語学、理論言語学
●生成文法・派生形態論の研究／
助動詞・助動詞縮約の研究／
日英語における動詞語彙の比較研究/
英語教育における文法指導

△『形態論』
△『派生形態論』
△『英語学セミナー:思考鍛練のための言葉学』
□動詞連用形の名詞化とサ変動詞「する」の関係
□目的語の認知と行為連鎖の二方向性
□「～中」の意味と連濁の関係について
□The Relation between Number Agreement and Auxiliary Reduction

日髙　真帆　教授＊＊　［博士（人間・環境学）］

■英文学・演劇
●イギリス・アイルランド演劇／比較文学・比較文化／
ミュージカル

△*Oscar Wilde Reappraised: Fiction and Plays*
△『比較文化論叢』
△『比較文化への視点』
△『越境する文化』
△『女性・演劇・比較文化』
△『英国演劇の真髄』
□When Japanese Tradition Meets a Western "Wit and Dramatist": Japanese Reception of Wilde's Comedies in the Meiji Era

松宮　園子　教授＊＊＊　［博士（文学）］

■英文学
●20世紀から現代に至るイギリス小説

△『転回するモダン：イギリス戦間期の文化と文学』
△『ミセス・ダロウェイの永遠の一日
—モダニズム・アイコンの転生の系譜』
□移ろいの美、改変の美—ゼイディー・スミス
『美について』—
□"On Being Ill": Woolf, Darwin, and the Diseased Mind in Ian McEwan's *Saturday*

木村　マリアン　准教授＊

■English and American Literature
●Early Modern British Literature／
Shakespeare／Ecocriticism

□"Oh I have read it; it is heresy": Giordano Bruno's "Gli Furori" as a Major Source for Shakespeare's "Twelfth Night"
□"Stand and Unfold Yourself": Prince Hamlet Unmasked

John Campbell-Larsen　准教授＊＊

■Second Language Acquisition
●Conversation Analysis

□Spoken narrative: Multiple voices, multiple perspectives
□Interactional competence: What is it and (how) can we teach it?

史学専攻

綾村　宏　教授＊＊＊

■日本中世史・史科学
●中世寺院史／寺院所蔵資料の実態と伝来／
書跡資料料紙の紙質と用法

□石山寺一切経の概要
□書跡資料調査における用語の検討
□石山寺所蔵の寺誌資料について

桑山　由文　教授＊＊＊　［博士（文学）］

■西洋古代史
●元首政期ローマ帝国政治史／
ローマ元首政期のギリシア文化

□パンヘレニオンとローマ帝国
□元首政期ローマ帝国とギリシア知識人
□元首政期ローマ帝国におけるギリシア世界の変容
—東部出身元老院議員の台頭とアテナイ—

坂口　満宏　教授＊＊＊　［博士（文化史学）］

■日本近代史
●日本移民史／
近代日本における異文化接触の諸問題

□出移民研究の課題と方法
—1930年代の福島県を中心に—

谷口　淳一　教授＊＊＊　［博士（文学）］

■イスラーム時代の西アジア史
●イスラーム社会における宗教知識人／
中世イスラーム国家の文書行政

△『聖なる学問、俗なる人生
—中世のイスラーム学者—』
□マムルーク朝時代のアレッポにおける
イスラーム宗教施設

早島　大祐　教授＊＊＊　［博士（文学）］

■日本中世史
●室町時代から中世移行期の京都を中心とした研究

△『室町幕府論』
□甲賀市史　二巻　甲賀衆の中世
□東久世庄増位家小伝
□戦国期研究の位相

本田　毅彦　教授＊＊＊　（Ph.D. Modern History）

■西洋近現代史
●イギリス帝国史／英印関係史

△『インド植民地官僚 —大英帝国の超エリートたち』
□1903年インペリアル・ダーバーにカーゾンが託した夢
□英領インド帝国によるソフト・パワーの構築と崩壊、
そしてその余波

松井　嘉徳　教授＊＊＊　［博士（文学）］

■中国古代史
●周代史

□周王の称号—王・天子、あるいは天王
□西周史の時期区分について
□鳴り響く文字—青銅礼器の銘文と声

母利　美和　教授＊＊　（博士後期指導補助教員）

■日本近世史
●近世藩政史／近世官僚制論／幕末政治史

□近江国神崎郡種村「郷士」大橋家の身分と
地域社会
□彦根藩足軽組の軍事編成と組織運営
□近世大名家臣団の官僚制と軍制
—彦根井伊家の場合—

山田　雅彦　教授＊＊＊　［博士（文学）］

■西洋中世史
●北フランス・ベルギー地域の都市社会史／
中世西欧の通過税制度の形成・発展・変容／
前近代ヨーロッパ諸地域の市場史

△『中世フランドル都市の生成』
□中世盛期・後期西ヨーロッパの
「市場」をめぐる諸問題
—1990年代以降の欧米学界を中心に—
□中世後期都市史研究の現状と
都市文書研究の展開
—北フランスを中心に—

梅田　千尋　准教授＊＊［博士（文学）］（博士後期授業担当教員）

■日本近世史
●近世の宗教社会史／民間宗教者／陰陽道と暦

△『近世陰陽道組織の研究』
□土御門家の家職と天文暦算
□近世の神道・陰陽道

告井　幸男　准教授＊＊［博士（文学）］（博士後期授業担当教員）

■日本古代史
●部民制／律令制／儀式・貴族

△『摂関期貴族社会の研究』
△『日本三代実録音楽年表』
□古記録語としての「間」

箱田　恵子　准教授＊＊　［博士（文学）］

■中国近代史
●中国近代の対外関係／外交制度史

△『外交官の誕生
—近代中国の対外態勢の変容と在外公館—』
△『出使日記の時代—清末の中国と外交—』
□英露対立と薛福成
—パミール交渉への対応を中心に—

博士前期課程

教育学専攻

岩槻　知也　教授**　［博士（人間科学）］

■社会教育学、生涯学習論
●成人基礎教育の内容・方法・制度／社会教育施設のサービスのあり方／「生涯学習」の理念と政策動向

△『家庭・学校・社会で育む発達資産—新しい視点の生涯学習』
△『日本の教育をどうデザインするか』
△『社会的困難を生きる若者と学習支援—リテラシーを育む基礎教育の保障に向けて』
□識字教育における方法の体系化に関する予備的考察
□批判的リテラシー研究の動向とその意義
□「イギリスにおける成人基礎教育政策の動向とその評価—政策の歴史的変遷」

表　真美　教授**　［博士（学術）］

■家族関係学、家庭教育学、家庭科教育学
●教科書における家族像に関する歴史社会学的研究／現代の子育て・家庭教育に関する実証的研究／現代の子どもの生活実態・家族コミュニケーションについて

△『家庭と教育　子育て・家庭教育の現在・過去・未来』
△『子どもと食　食育を超える』
△『食卓と家族　食卓での家族団らんの歴史的変遷』
□ドイツ初等・中等教育における家政教育—ヘッセン州基礎学校における裁縫教育・食教育の事例を中心に—
□保育者がとらえる子どもの自立と家庭教育—幼稚園教諭・保育士を対象とした質問紙調査から—
□戦前期の『主婦之　友』にみる既婚女性・母親の就労

谷川　至孝　教授***

■教育学
●教育行政／教育政策／英国の教育／ボランタリーセクター／教育と福祉の連携

△『学級編成と地方分権・学校の自律性』
△『Educational System and Administration in Japan』
△『地方政府における教育政策形成・実施課程の総合的研究』
□「子どもの貧困」対策から「子どもの社会的包摂」へ—家族主義=自己責任論を乗り越える—
□英国労働党教育政策にみるポスト福祉国家レジーム（1）—先行研究の整理と研究枠組みの設定—
□英国労働党「第三の道」における行政の統合化の位置—「すべての子どもを大切に」を中心に—

宮野　純次　教授**　［博士（教育学）］

■科学教育
●理科教育学／環境教育／カリキュラム論

△『ドイツの理科教育—その伝統と革新—』
△『小学校理科の指導〔第2版〕』
△『自然体験学習論～豊かな自然体験学習と子どもの未来～』
□ドイツの初等教育における理科教育の改革—基礎領域と中等教育との接続を考慮して—
□ドイツの初等・基礎領域における自然に関する学習—ハンブルク州における学びの連続性について—
□教職大学院における授業改善・FD活動—京都教育大学大学院連合教職実践研究科の事例検証—

森　繁男　教授**

■教育社会学、ジェンダー論
●ジェンダーと教育に関する総合的研究／子どもの生活と教育に関する実証的研究／男女平等教育に関する実践的研究

△『教育とジェンダー形成—葛藤・錯綜/主体性—』
△『解放を学ぶ女たち』
□学力の階層格差とその克服—社会的支援の可能性—
□学級における「いじめ」の構築とジェンダー言説—女子大学生による「振り返り」からの緒論—
□多様な個性を育てる教育の社会的課題—階層とジェンダーにみる格差の克服—

坂井　武司　准教授*　［博士（情報学）］

■数学教育学
●算数・数学教育／教師教育

△『子どもの学力を高める新しい算数科教育法』
△『授業に役立つ算数教科書の数学的背景』
◇Logical analysis of ratio inference by children
◇割合に関する概念的知識と手続き的知識の統合
◇算数教育における教師の授業実践力に関する尺度開発

松岡　靖　准教授**　［博士（教育学）］

■社会認識教育学 、学校教育学
●メディア社会における社会科カリキュラムに関する研究／ESDの理念に基づく世界文化遺産の教材構成に関する研究／デジタル教科書活用によるアクティブラーニング型授業構成に関する研究

△『メディア社会に焦点化した小学校社会科カリキュラム開発研究』
△『文化を基軸とする社会系教育の構築』
△『若い教師のための小学校社会科Chapter15』
□学習指導要領に依存した社会科授業からの改善方略—学習者の「状況」に着目した教科書メディアを相対化する授業改善を通して—
□社会科の教科論理に応じたICTメディア活用
□災害社会学の成果に基づく社会科「災害単元」の開発研究（1）

宮﨑　元裕　准教授*

■比較教育学
●多文化社会における価値教育の機能と役割／トルコの教育制度と教育改革

△『日本の教育をどうデザインするか』
△『世界の宗教教科書』
△『現代アジアの教育計画（下）』
□トルコにおける多元的宗教教育の状況とその可能性—イギリスとの比較を通して—
□トルコにおける2012年義務教育改革—宗教関連選択科目の新設とイマーム・ハティプ中学校の再開に注目して—
□多文化時代における価値教育の変容—論理的思考の重要性に注目して—

村井　尚子　准教授*

■教育哲学
●現象学的教育学／教師教育

△『応答する教育哲学』（第23章「ユトレヒト学派の現象学—現象学的心理学から現象学的教育学へ」）
△『ランゲフェルト教育学との対話—「子どもの人間学」への応答』（第2部「親であることの教育的考察—ヴァン=マーネンの教育学の基底として」）
□教師教育における「省察」の意義の再検討—教師の専門性としての教育的タクトを身につけるために—
□ヴァン=マーネンの教育的タクト—定義と特徴—
□気がかりとしてのケア—教育とケアは分離可能か—
□実習における「教育的契機」への反省的記述—反省的な幼稚園教員養成のための一方策—

心理学専攻

瓜生　淑子　教授　［博士（教育学）］（博士後期指導補助教員）

■発達心理学
●言語獲得期の格関係の理解／聴覚障害児の手話・日本語の獲得／子どものウソと自我の発達／子育て支援施策の理念・実際の検討

△『格助詞獲得の時期と過程に関する発達的研究』
△（共著）『発達障害児の発達支援と子育て支援』
□Lying and Theory of Mind:Young Children's Responses to a Deception Task
□母親の育児肯定感の規定要因—「家庭優先か仕事優先か,それとも…」を巡る希望と現実の狭間で—

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文　◇共著論文（その他著書・論文についてはHPを参照してください）
***は博士前期・後期指導教員　**は博士前期・修士課程指導（補助）教員　*は博士前期・修士課程授業担当教員

修士課程

岩原　昭彦　教授**　［博士（心理学）］

■神経心理学、健康心理学
●認知の予備力と認知機能の低下勾配との関連性の検証／健康増進行動に対するポジティブ心理学的介入の効果の検証
□認知の予備力をめぐる最近の動向
◇住民健診を対象とした短縮版MMSE(SMMSE)の有用性と妥当性
◇Developmental Changes of prefrontal cortex and cerebro-cerebellar functioning in older adults: evidence from stabilometer and cognitive test

倉本　義則　教授**

■障害児・者心理学
●障害理解教育に関する研究／職業リハビリテーションの方法に関する研究

□実習不安と実習での体験・学びとの関係について
□実習不安と評価不安および対人恐怖心性との関係
□障害者施設実習に対する不安
—不安の因子構造および不安と経験との関係—

古池　若葉　教授**

■認知発達心理学、臨床心理学
●描画における感情表現の発達過程／描画と書字に関する表記知識の発生と発達過程／発達的な偏りのある子どもにおける言語的コミュニケーションのアセスメントと支援

□幼児における数字の読みと書きの発達
□数表記知識獲得の基礎としての子どもの数学的理解
□ASD児者の語用障害の要因
—心理士としての支援のあり方についての考察—

箱田　裕司　教授***　［文学博士］

■実験心理学
●ストループ・逆ストループ効果、Navon 課題、有効視野課題を用いた注意の研究

△『The interference of local over global information processing in children with attention deficit hyperactivity disorder of the inattentive type.』
△『An Asymmetric Stroop/reverse-Stroop interference phenomenon in ADHD.』
△『蝶図形の認知とカテゴリー化』

広瀬　雄彦　教授***　［博士（教育学）］

■認知心理学、言語心理学、教育心理学
●視覚的単語認知の研究／リーディング・スキルの研究

△『日本語表記の心理学』
□漢字および仮名単語の意味的処理に及ぼす表記頻度の効果
□視覚的単語認知における頻度効果の再検討
◇Reading disabilities in modern Japanese children.
◇スキーマの個別性が虚再生に及ぼす影響
—目撃証言の観点から—

吉村　英　教授**（博士後期指導補助教員）

■社会心理学、認知心理学、教育心理学
●情報化社会に生きる人々の意識構造／大学教育とキャリア発達に関する研究／社会的スキルと攻撃性

□大学卒業3年後および10年後の女性のキャリア意識
□キャリア意識の形成が大学生活の満足感に及ぼす影響
□女子大学生における幸福の概念と幸福感の規定因

稲塚　葉子　准教授*

■臨床心理学
●思春期の性同一性／青年期の同一性形成と諸要因

□青年期における「私」の生成について
◇参与観察実習としての「子育て教室」
◇「子育て教室」参加者のアタッチメントの安定性と心理的支援

下津　咲絵　准教授**

■臨床心理学、認知行動療法
●精神疾患のセルフスティグマ低減に対する認知行動療法の有用性の研究

□精神疾患のセルフスティグマに関する実証的研究の動向
◇Effectiveness of group cognitive-behavioral therapy in reducing self-stigma in Japanese psychiatric patients
◇An investigation of anxiety about radiotherapy: Deploying the Radiotherapy Categorical Anxiety Scale
◇地域クリニックにおける集団認知行動療法の実践の試み
◇中学生における多動傾向と自尊感情の関連：Wender Utah Rating Scale を用いた予備的研究

松浦　ひろみ　准教授*

■発達臨床心理学
●子どもの物語表現と内的世界に関する研究／児童期から思春期にかけての愛着表象に関する研究／小児科領域における心理臨床に関する研究

◇小児がん患児家族の外傷後ストレス症状と心理的支援
◇幼児期後期における愛着表象の投影的測定法
—親子関係質問紙及び教師による対人行動評定との関連—
◇「子育て教室」参加者のアタッチメント安定性と心理的支援

表現文化専攻

大谷　正和　教授**

■ピアノ、現代音楽
●20世紀ピアノ音楽の研究／J.S.バッハの鍵盤作品の研究

□メシアンと鳥 —「鳥のカタログ」の分析を通して—
◇変拍子の楽曲に対するピアノ指導についての一考察—バルトーク《ブルガリアン・リズムによる6つの舞曲》を中心として—

ガハプカ　奈美　教授*

■声楽 、声楽教育
●呼吸法と表現教育の関わり／教育と音楽の関わりあい

△『感性をひらいて保育力アップ「表現」エクササイズ&なるほど基礎知識』
□音楽教育における感覚的認識の一考察
□ヴォイス・トレーニングの授業における自己表現の展開
～呼吸法を用いた活動の有効性～
◇感性を育む表現教育のプログラム開発
—「楽曲を描く」課題を中心に—

関口　博子　教授**

■音楽教育学・音楽教育史
●近代スイス・ドイツのペスタロッチ主義による学校音楽教育の改革と合唱運動

△『近代スイス・ドイツの音楽基礎教育と歌唱活動』
△『近代ドイツ語圏の学校音楽教育と合唱運動
—19世紀前半のスイスにおけるH.G.ネーゲリの思想とその活動を中心として—』
□J.R.ヴェーバーの唱歌教育改革論とその方法
—ペスタロッチ主義との関連性を視点として—
□リトミックの理念—リズムの根本思想—
□J.A.P.シュルツ『民謡調の歌曲集』の特徴
—18世紀後半のドイツにおける民衆啓蒙と音楽教育との関わりを視点として—
□H.G.ネーゲリの教育改革構想
—ペスタロッチ主義という視点から—
□19世紀前期ドイツ語圏スイスにおける学校音楽教育の改革と合唱運動
—H.G.ネーゲリの思想とその活動の歴史的意義—

田中　純　教授**

■声楽
●ドイツ歌曲研究／日本歌曲研究／声楽発声研究

△『歌唱表現の基礎的技巧』
□F.シューベルト 「冬の旅」
□オペラ 「源氏物語」
□H.ヴォルフ　歌曲研究
□大中　恩　歌曲研究

表現文化専攻

土居　知子　教授*

■ピアノ、ピアノ教育
●ドイツ語圏作曲家の作品および演奏研究
□「変奏曲」形式の楽曲を用いた効果的なピアノ指導法（I）
—演奏技術・表現力・様式感の同時獲得を目指して—
□「変奏曲」形式の楽曲を用いた効果的なピアノ指導法（II）—「練習曲」との相互性の観点から—
□R.シューマン《ユーゲントアルバム》Op.68をめぐる一考察（I）
—包括的な学びへと導くピアノ指導法を探る—
◇変拍子の楽曲に対するピアノ指導についての一考察
—バルトーク《ブルガリアン・リズムによる6つの舞曲》を中心として—

難波　正明　教授**

■音楽科教育
●音楽科の教育内容に関する研究／ピアノ指導に関する研究

□アメリカの音楽教科書"Share the Music"における音楽構成要素の学習について
□芸術カリキュラムの統合化に関する一考察（2）
—全米芸術教育標準における舞踊、舞台芸術、視覚芸術の内容・達成標準—
◇導入期のピアノ教材に関する一考察
—大譜表の問題を中心に—

水戸部　修治　教授**

■国語科教育学
●国語科授業改善／読解力育成／国語科単元構想モデル開発

△『小学校国語科授業&評価パーフェクトガイド』
□読書人を育成する授業のあり方
—児童の読書に関する能力の実態を踏まえた授業づくり—
□未来を生きる子供たちのための国語科授業改革
□『各教科等の学習に機能する読解力』解明のための手法開発に関する一考察
□ベルリン市の基礎学校における「PISAスーツケース」の活用状況と日本版開発の可能性
□オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ワガワガ市における国語科教育の現状

山野　てるひ　教授**

■美術科教育学（幼児、児童の造形教育）
●総合的表現教育の理論と実践／造形主義美術教育の系譜

△『表現エクササイズ&なるほど基礎知識』
△『子どもの心に語りかける表現教育』
◇音楽と造形の総合的な表現の可能性
—「保育内容指導法（表現）」の授業の試み—

佐藤　岳晶　准教授*

■作曲、音楽理論、近世邦楽
●音楽作品の創作、近世邦楽の演奏法と創作理論

□松阪春栄の二面箏による音楽言語と創造
その1——ヘテロフォニーのリズム的「錯乱」
□「声の文化（オラリティー）」に生きる音楽を求めて
——長唄三味線 今藤長龍郎師の稽古の考察から
□グローバル化時代の伝統邦楽再考（その2）
——普遍／差異 音楽・言語の「抗争（ディフェラン）」
□グローバル化時代の伝統邦楽再考（その1）
——記憶・想起からの想像／創造

田崎　直美　准教授*

■音楽学（西洋音楽史）
●近代フランスにおける音楽社会、音楽政策、国際文化交流

□"French Musicology in Japan in the Mid-Twentieth Century: The Legacy of Norbert Dufourcq and Jacques Chailley"（2017年7月刊行予定）
□戦後日本における招聘フランス人音楽家の活動（1950-53年）: 日仏文化交流および日本の音楽界に与えた影響について
□"Un concours de composition outil de propagande politique: le cas du Concours musical de la ville de Paris sous la Troisième République"
□芸術音楽を通じた仏独文化交流の黎明: 1950-52年独仏の放送局による活動検証より
□フランス第四共和政前期（1946-54年）国営ラジオ局における音楽政策と戦争の記憶: フランス国立管弦楽団初演作品とその評価の考察より
□フランス・ヴィシー政権時代（1940-1944年）におけるパリ市の音楽政策: 定期演奏会事業を中心に
□占領下（1940-1944）パリの音楽界におけるドイツ当局の影響: 国立オペラ劇場連合（RTLN）の場合

児童学専攻

瓜生　淑子　教授**　［博士（教育学）］

※専門分野などについては前記参照

岡林　典子　教授**　［博士（学術）］

■音楽教育学
●乳幼児の音楽表現／幼小連携をふまえた音楽教育のあり方／言葉と動きの音楽的関わり

△『「表現エクササイズ」なるほど基礎知識』
△『ことばと表現力を育む児童文化』
△『乳幼児の音楽的成長の過程
—話し言葉・運動動作の発達との関わりを中心に—』
□音楽発達研究における人類学的アプローチの有用性
□幼小をつなぐ音楽活動の可能性（3）
—幼稚園・小学校での実践を教員養成に活かすために—
□喃語のリズムの変化—生後8ヶ月,12ヶ月,17ヶ月の音声の比較から—
◇日本語の獲得期にみられる2拍のリズミカルな音声表現
—一幼児の生後11～17か月の観察より—

新矢　博美　教授**　［博士（体育科学）］

■体育科学、健康科学
●生涯に渡る健康づくり／運動と体温

△『健康生活のための運動・スポーツ』
△『体育あそび』
◇スポーツユニフォームの違いが高温環境下運動時の体温調節反応に及ぼす影響
◇スポーツ活動および日常生活を含めた新しい熱中症予防対策の提案
—年齢、着衣および暑熱順化を考慮した予防指針—
◇水泳練習時の発汗量、飲水量、脱水量と環境温度の関係
◇中高年のウォーキング時における熱中症予防のための水分摂取基準

深見　友紀子　教授**

■音楽教育学
●音楽教育の情報化／音楽指導におけるICT活用／子どもの鍵盤教育の現代化／子どもの音楽文化活動の企画・支援

△『この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版』
△『子どものうた弾き歌いベスト50 注釈付』
□音楽教室における子どものインフォーマルラーニング
□日本のデジタル教科書改良に関する提案
—韓国視点、日韓デジタル教科書比較を通じて—
□小学校音楽科リコーダー学習における一人1台端末を活用した家庭学習が技能に及ぼす効果
◇Difference in Skill Acquisition Depending on The Type of Contents: In Case of Piano Playing

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文　◇共著論文（その他著書・論文についてはHPを参照してください）
＊＊＊は博士前期・後期指導教員　＊＊は博士前期・修士課程指導（補助）教員　＊は博士前期・修士課程授業担当教員

森　博文　教授＊＊　［博士（学術）］

■身体教育学
●体育科教育／体育教師教育

△『水泳の授業づくり』
△『陸上運動の授業づくり』
△『表現の文化と教育』
□幼稚園実習におけるヒヤリハット体験に関する研究
—実習生の事後意識調査より—
□学校体育におけるドッジボールの
教科内容に関する一考察
□観察行動における教師のエクスパティーズの検討
—ボールゲームの観察行動に焦点をあてて—

矢野　真　教授＊＊

■造形教育、立体造形
●立体造形制作／教材開発を通した表現／
木育による造形表現

△『DVDでわかる!乳幼児の造形』
△『幼稚園・保育園の年中行事完全マニュアル』
□教材開発を通した子どもの創造性を育てる
表現教育のあり方に関する研究
◇保育者養成における子どもと
高齢者をつなぐ造形活動
—保育者を目指す学生の学びを中心に—
◇保育者養成における世代間のコミュニケーション
支援に着目した造形活動
—木育活動における事例的検討—

今田　由香　准教授＊＊

■児童文化学・絵本学
●物語絵本の表現と機能について

△『絵本ものがたりFIND』
△『絵本から学ぶ子どもの文化』
△『絵本学講座1　絵本の表現』
△『絵本で読みとく宮沢賢治』
□The Three Robbers の表現様式
□大人を導く子どもの登場
—T.ウンゲラーのニューヨーク時代の絵本を読む—
□長新太のナンセンス

黒田　義道　准教授＊　［博士（文学）］

■真宗学
●浄土真宗における教導者観の変遷／
中世真宗教学史／真宗教団史

□親鸞の浄土三部経千部読誦について
—信心に問われる社会的実践—
□初期真宗門徒の教導者観
—真宗美術を手がかりに
□蓮如の善知識観
□覚如と存覚の相承観
—師による相承と善知識による相承

上月　智晴　准教授＊

■幼児教育、保育学
●保育者の専門性／乳幼児の遊びと指導のあり方／
保育者養成／感情労働

△『保育実践に学ぶ保育計画のつくり方・いかし方』
△『保育における感情労働
—保育者の専門性を考える視点として—』
△『保育実践のまなざし』
□保護者支援における保育者の
感情労働ストラテジーの解明調査研究報告書
□幼稚園教育実習における学生の学びと課題
□今日における幼稚園・保育所の生活の質に関する
考察—実習生の保育印象の分析を通して—

瀬々倉　玉奈　准教授＊＊　［博士（学術）］

■乳幼児精神保健学、臨床心理学
●多職種による予防的な早期親子支援への
臨床心理学の応用

△『事例にまなぶ不登校　思春期のこころと家族』
△『Ung Dung Tam Ly Hoc tai Nhat Ban
（日本における心理学の応用とその展開：ベトナム語）』
△『乳幼児の発達臨床心理学:理論と現場をつなぐ』
□「子育て不安」に関わる三者の「現実」
—保健センターにおける「子育ち・子育て支援」
現場から—
□子育て支援の諸相（2）「子育ち・子育て支援」と
理想の家族・親イメージ
□子育て教室における養育者間スクイグルと託児
—親子分離の逆説的効果—
□母子保健における臨床心理学的アプローチの応用
子育ち・子育て支援としての大学講義
—赤ちゃんとの関わり体験調査—

間瀬　知紀　准教授＊　［博士（学術）］

■公衆衛生学・健康科学
●体格／体組成／発育発達／身体活動／食行動

△『健康生活のための運動・スポーツ』
◇Relationship among eating behavior, effortful control, and w personality traits in Japanese students: cross-sectional study.
◇Relationship among eating behavior, effortful control, and working memory in female young adults.
◇Cardiovascular response to short-term fasting in menstrual phases in young women: an observational study.
◇Influences of peers' and family members' body shapes on perception of body image and desire for thinness in Japanese female students.
◇The Relationships among Perception of Body Image, a Desire for Thinness, and Dieting Behavior in Young Females in Japan.
◇Relationship of a desire of thinness and eating behavior among Japanese underweight female students.

松崎　行代　准教授＊　［博士（現代社会）］

■児童文化学、社会学
●幼児を観客対象とした人形劇作品論／
保育における人形劇

△『つながってく—人形たちと歩んだ30年—』
△『子どもの生活と児童文化』
□3歳未満を観劇対象とした人形劇の現状と特徴
□地域社会を基盤としたまちづくりに関する一考察
—いいだ人形劇フェスタへの運営および
観劇への住民参加の実態から—
□昔話の児童文化財化に関する考察
—「おおきなかぶ」を中心に—
□伝統芸能と子ども（第1報）
—新野の雪祭りの記録—
◇保育要領への「人形芝居」導入の背景と
幼稚園の実態

博士後期課程

教育学専攻

内海　成治　教授＊＊＊　［博士（人間科学）］

■教育学
●教育学／国際教育協力論

△『教育ミニマムスタンダード
（緊急時の教育のための最低基準）2010』
△『国際ボランティア論』
△『国際緊急人道支援』
△『教育ミニマムスタンダード
（緊急時の教育のための最低基準）2004』
△『国際教育協力論』

瓜生　淑子　教授　［博士（教育学）］（博士後期指導補助教員）

谷川　至孝　教授＊＊＊

箱田　裕司　教授＊＊＊　［文学博士］

広瀬　雄彦　教授＊＊＊　［博士（教育学）］

吉村　英　教授　（博士後期指導補助教員）

※専門分野などについては前記参照

授業担当教員は指導教員として選べません。

博士前期課程

食物栄養学専攻

今井　佐恵子　教授***　［博士（農学）］

■臨床栄養学、栄養指導
●糖尿病の食事療法に関する研究／
妊娠糖尿病の食事療法に関する研究

△『元祖「食べ順」野菜から食べるおいしいレシピ集』
△Divided Consumption of Late-Night-Dinner Improves Glycemic Excursions in Patients with Type 2 Diabetes: A Randomized Cross-over Clinical Trial. Diabetes Research and Clinical Practice (in press)
◇Eating Vegetables Before Carbohydrates Improves Postprandial Glucose Excursions Diabetic Medicine 30:370-372.2013
◇Comment on Shukla et al. Food Order Has a Significant Impact on Postprandial Glucose and Insulin Levels. Diabetes Care 38:e98-e99.2015

川添　禎浩　教授***　［薬学博士］

■食品安全性学、環境毒性学
●食にかかわる化学物質（健康食品、有害物質など）の安全性／植物エストロゲンのエストロゲン様作用

△『栄養薬学・薬理学入門』
△『健康と環境の科学』
◇ダイエタリーサプリメントに使用される大豆抽出物とエチニルエストラジオールの複合エストロゲン活性
◇Study of Dietary phytoestrogens and Estrogenic Activity in Pet Animal Diets
◇高イソフラボン含有黒大豆「高イソ黒65号」の調理によるイソフラボンと抗酸化能の変化
◇健康食品中の硝酸塩の含有量調査

河村　幸雄　教授***　［農学博士］

■食品生化学、応用細胞生物学
●食品による骨粗鬆症／糖尿病予防／
食品による生体内酸化ストレス制御

□Puerarin suppresses macrophage ctivation via antioxidant mechanisms in a CaPO4-induced mouse model of aneurysm" J. Nutr. Sci. Vitaminol. 62, 425--431 (2016)
□Anti-hyperglycemiceffects of a kudzu (Pueraria lobata) vine extract in ovariectomized mice. J. Nutr. Sci. Vitaminol. 62, 341-349 (2016)
□Phylogenetic Analysis and Taste Cell Expression of Calpain 9 in Catfish (Ictalurus punctatus) Natural Science, 3, http://www.scirp.org/journal/n(2015)
□Identification of peamaclein as a marker allergen related to systemic reactions i n peach allergy Annals of Allergy, Asthma & Immunology, 112, 175 (2014)
□Distribution of lysophosphatidylcholine in the endosperm of Oryza sativa rice Rapid Commun. Mass Spectrom. 28, 1515–1520 DOI: 10.1002/rcm.6927 (2014)
□Molecular cloning and expression profiling of procollagen α1 (I) of cultured Pacific Bluefin tuna Fishery Sci., 80(3) 603-612 (2014)
□Ellagic acid improves hepatic steatosis and serum lipid composition through reduction of serum resistin levels and transcriptional activation of hepatic PPARα in obese, diabetic KK-Ay mice. Biochem.Biophys.Res. Commun, 434,486-491(2013)

中山　玲子　教授***　［農学博士］

■脂質生化学、脂質栄養学、応用微生物学、栄養教育
●酵母における脂質メディエーターPAF（血小板活性化因子）の生理機能の解明／
脂質栄養、特に、脂肪酸の適正摂取に関する研究／
行動科学的アプローチによる栄養教育の理論と実践

△『栄養教育論』
◇*LPT1* encodes a membrane-bound O-acyltransferase involved in remodeling various glycerophospholipids in the yeast *Saccharomyces cerevisiae*
◇幼稚園における園児の食べ物の名前認知度と教諭の保育の中での食育との関連
◇中国都市部児童の食生活に関する実態調査
◇女子大生に対する食育の重要性
—「食を選択する力」と「和食」の観点より—

八田　一　教授***　［理学博士］

■食品加工学、食品機能学、食品免疫学
●鶏卵卵黄抗体（IgY）に関する研究／
鶏卵タンパク質の食品機能特性に関する研究／
食品成分の自然免疫増強活性に関する研究

◇Stimulating Macrophage Activity in Mice and Human by Oral Administration of Quillaja Saponin., Biosci Biotechnol Biochem., 75(10), 1889-1893 (2011)
◇卵白スポンジケーキを用い麹菌の高密度培養と卵白発酵調味料（たまご醤油）の開発、日本食品科学工学会誌、61,77-84(2014)
◇Production of Polyclonal Rabies Virus Antibodies in Birds., in "Current Laboratory Techniques in Rabies Diagnosis, Research and Prevention" ELSEVIER, p305-315 (2015)
◇Ulcer disease prophylaxis in koi carp by bath immersion of chicken egg yolk containing anti-Aeromonas salmonicida IgY. Research in Veterinary Science, 99, 82-86 (2015)

宮脇　尚志　教授**　［博士（医学）］

■予防医学、健康科学
●予防医療／生活習慣病／健診／人間ドック／
禁煙／摂食障害

△『健診現場における肥満症対策の意義』
◇内臓脂肪蓄積と生活習慣及び食事内容との関連
—人間ドック受診者を対象とした横断研究—
◇受動喫煙の曝露時間と呼吸機能及び心理ストレスとの関連
◇摂食障害傾向を有する女子大学生の食物摂取状況及び食習慣
◇行動変容に向けての新しい強化子を用いた生活習慣改善の試み
◇Antihypertensive effects of sesamin in humans
◇Contribution of visceral fat accumulation to the risk factors for atherosclerosis in non-obese Japanese

---

寄本　明　教授***　［博士（医学）］

■運動栄養学、健康科学
●脱水症および熱中症予防に関する研究／
栄養および運動による生活習慣病・メタボ・ロコモ・フレイル予防に関する研究

△『イラスト運動生理学』
△『高温環境とスポーツ・運動』
□Functional characteristics and measurement significance of respiratory muscle strength in the elderly
□中高年者の生活習慣病およびメタボリックシンドローム予防におけるノルディックウォーキングの有用性
□中高年者のウォーキング時における熱中症予防のための水分摂取基準
□Relationship between dietary patterns and brachial-ankle pulse wave velocity among middle-aged adults in Japan

---

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文　◇共著論文（その他著書・論文については HP を参照してください）
＊＊＊は博士前期・後期指導教員　＊＊は博士前期指導（補助）教員　＊は博士前期授業担当教員

桂　博美　准教授＊　［博士（農学）］

■栄養学、給食経営管理論
●食品含有ビタミンB12の吸収に及ぼす調理の影響／生体内の補酵素型ビタミンB12の変動／給食経営管理に関する研究

◇ラット肝臓のビタミンB12貯蔵量に与えるシアノコバラミンまたはメチルコバラミン経口投与の影響
◇給食経営管理学内実習における献立計画および作業内容と労務費の関係について
◇管理栄養士養成課程における給食経営管理実習の試み
―原価管理、衛生管理、労務管理に焦点をあてて―

河野　篤子　准教授＊　［医学博士］

■調理学、食文化
●郷土料理／行事食調査

◇レーズンより単離した酵母の同定および製パン特性
◇山形県庄内地方の郷土料理とその伝承
◇給食経営管理実習における献立内容及び作業内容と労務費の関係について

米浪　直子　准教授＊　［博士（学術）］

■栄養学、調理学
●食事誘発性体熱産生に関する研究／高齢者用食品の物性および栄養に関する研究／スポーツ活動時の水分・栄養補給に関する研究

◇スポーツ活動時における糖・電解質飲料の摂取が食行動に及ぼす影響
◇唾液バイオマーカーからみた鴨川河川敷でのウォーキングおよびランニングのストレス軽減効果
◇青年期女性における体格と食意識の関連性
◇ラグビーフットボール選手におけるデュアルインピーダンス法による内臓脂肪の評価

松尾　道憲　准教授＊＊　［博士（農学）］

■生化学、分子生物学
●動脈硬化抑制を目指した脂質輸送タンパク質とリポタンパク質の研究／腸内細菌由来成分による炎症抑制と神経突起伸長に関する研究

△『栄養と代謝物のトランスポーター ―脂質―』
□ABC proteins involved in glucose and lipid homeostasis
◇Possible application of apolipoprotein E-containing lipoproteins and polyunsaturated fatty acids in neural regeneration
◇Involvement of low density lipoprotein receptor-related protein and ABCG1 in stimulation of axonal extension by apo E-containing lipoproteins
◇ABCA1, ABCG1, and ABCG4 are distributed to distinct membrane meso-domains and disturb detergent-resistant domains on the plasma membrane
◇Neurite outgrowth stimulation by n-3 and n-6 polyunsaturated fatty acids of phospholipids in apolipoprotein E–containing lipoproteins secreted from glial cells
◇ABCG1 and ABCG4 suppress γ-secretase activity and amyloid β production

松本　晋也　准教授＊　［博士（農学）］

■分子遺伝学、分子栄養学
●線虫を用いた脂質取り込みメカニズムの解析／飢餓の栄養学の理解

□第5回高付加価値食品開発のためのフォーラムに参加して
◇Chemical Composition and Functional Properties of Sub-fractions of Soluble Soybean Polysaccharides
◇Adsorption and Structural Change of β-lactoglobulin at Diacylglycerol-Water Interface

横山　佳子　准教授＊　［博士（医学）］

■公衆栄養学、微生物学
●食品の保存条件と細菌の形態変化について／食品中の薬剤耐性菌の分布と動向について／種々の生活習慣と食生活との関連性について

□食品由来細菌における抗菌薬感受性の現状
◇ストレス環境下における細菌の増殖と形態変化
◇Genetic environments of the rmtA gene in Pseudomonas aeruginosa clinical isolates

吉野　世美子　准教授＊　［医学博士］

■調理科学、ライフステージ別栄養学
●各ライフステージにおける食物摂取の実態について／食品の調理による物理的、化学的変化について

△『これからの応用栄養学演習・実習』
△『食の科学と生活』

生活造形学専攻

榎本　雅穂　教授＊

■生活科学一般、高分子・繊維材料
●人工皮革や合成皮革に使用されるポリウレタン樹脂の開発を含めた染色と加工／スポーツウェアに使われる透湿防水布帛の素材開発とそれを用いた機能加工

△（監修・著作）人工皮革・合成皮革
◇Effects of Dyeing Temperature and Molecular Structure on the Dye Affinity of Polyurethane Films containing Polyethylene Glycol Segments
◇表面処理を施した合成皮革・PVCレザーにおける触感評価
◇リネン洗濯促進試験機を用いた防水シーツの耐久性評価とこれに用いた合成皮革の樹脂組成について
◇親水基としてポリエチレングリコールを含むセグメントポリウレタンの染色性
◇セグメントポリウレタンにおけるソフトセグメント成分の変化に伴う染色性の変化

片山　勢津子　教授＊＊＊　［博士（学術）］

■インテリア史、インテリア計画
●インテリア様式の形成過程／近代インテリアデザイン史／住まいにおける子どもの環境

△『図解テキスト インテリアデザイン』
△『インテリアコーディネートハンドブック』
□RESTORED PLAN OF HÔTEL DE RAMBOUILLET A Study on the Spatial Formation of “Hôtel” in Paris in 17th Century
□子どもの就寝様式に関する母親の意識について

北尾　靖雅　教授＊＊＊　［博士（工学）］

■Built Environment, Designing System, Collective Form of Architecture
●Urban Facilities in Regional Planning, Housing Projects as City Planning, Place and Architecture, Architecture & Modern Movement History of Regional Planning,Space Structure Analysis & Architectural Heritage and Regional Planning

△『Collective Urban Design: Shaping the City as the Collaborative Process, TU-Delft Press, NL』
△『Urban Street Design & Planning, WIT Press, GB』
△『The Architecture of Ralph Erskin: Contributing to Humanity, Kajima Publishing, JP』

生活造形学専攻

斎藤　英俊　教授***　［工学博士］

■建築史、文化財保存
●日本建築史（中世・近世住宅、桂離宮）／文化財保護（建造物の保存・活用、伝統的建造物群保存地区、近代化遺産）／世界遺産（国際条約、文化的景観、危機管理、国際協力）

△『中井文書の研究 1～10』
△『日本人はどのように建造物をつくってきたか10 桂離宮―日本建築の美しさの秘密』
△『桂離宮御殿整備記録　全4冊』「本文編」「図面編」「図録編I」「図録編II」
△『茶道聚錦2―茶の湯の成立』
△『城と茶室』
△『近世建築指図の総合的研究〔第一巻〕平面図としての「指図」の作図技法・描法の展開に関する研究』
□そもそも「床の間」とは―「床」「床の間」考
□合掌造り民家の合理的な構造
□近代化遺産の保存―自らの歴史を語るために―
□文化財とその保存・修復の意味を考える

成実　弘至　教授**　（博士後期指導補助教員）

■社会学、ファッション研究
●服飾史／若者文化研究／サステナブルデザイン論

△『20世紀ファッションの文化史』
△『Japan Fashion Now』
△『コスプレする社会』
△『モードと身体』
□Street Style and Its Meaning in Postwar Japan
□Fashion Orientalism and the Limits of Counter Culture
□文化を創造する都市―ファッション文化支援と創造的労働者としてのデザイナー―

諸岡　晴美　教授***　［学術博士］

■アパレル材料学、衣環境学、感性工学
●シニアの健康・快適な衣生活を支援するための被服衛生学的研究／つまずき予防靴下の設計に関する研究／熱中症予防対策に関する研究／パラリンピアンのスポーツウェアの設計に関する研究

△『アパレルと健康』
△『消費者の視点からの衣生活概論』
△『アパレル生理衛生論』
△『高機能性繊維の最前線～医療,介護,ヘルスケアへの応用～』
△『官能評価活用ノウハウ・感覚の定量化・数値化手法』
◇着圧利用のアパレル開発―弾性靴下のユニバーサル仕様を視野に入れて―
◇高齢者の歩行動態を表す特徴量の抽出とそれに影響を及ぼす要因
◇女性ファンデーション用編布の素材と編構造が熱・水分移動特性に及ぼす影響

山岡　俊樹　教授***　［学術博士］

■デザイン、人間工学、サービス、製品開発
●デザイン方法論／デザインプロセス／システム設計方法

△『デザイン人間工学―魅力ある製品・UX・サービス構築のために―』
△『デザイナー、エンジニアのためのUX・画面インターフェースデザイン入門』
△『UX・画面インターフェースデザイン入門』
△『論理的思考によるデザイン―造形工学の基本と実践―』
△『デザイン人間工学の基本』
△『Manufacturing Attractive Products Logically by Using Human Design Technology: A Case of Japanese Methodology』
△『*サービスデザイン*―フレームワークと事例で学ぶサービス構築―』
□Proposal of Usability Metrics based on Inspection Methods　The Bulletin of JSSD
□ユーザインタフェースにおけるユーザのメンタルモデル構築度合想定のためのアンケートの提案
□ヒューマンデザインテクノロジーを用いた消臭・芳香剤の容器のデザイン開発とその評価
□デザイン人間工学に基づく汎用システムデザインプロセス

青木　美保子　准教授*　［博士（学術）］

■服飾史、ファッションデザイン
●近代日本の服飾・染織史

△『京都　伝統工芸の近代』
△『京都　近代美術工芸のネットワーク』
□大正・昭和初期の着物図案―松坂屋の標準図案を巡って―
□京都における染織工芸の近代化―古法「墨流し」の改良を中心に―
□1960年代　日本におけるオートクチュールの受容―大丸百貨店と大丸ドレスメーカー女学院にかかわった礒村春の活動を手がかりに―

井上　えり子　准教授*　［博士（工学）］

■建築計画学
●京都花街の建築文化／京都の住居・住文化／京都市の空き家問題

△『京の花街　ひと・わざ・まち』
□都市部における空家の発生要因―東山区六原学区の空家調査から

江口　淑子　准教授*

■メディアデザイン、デザイン史
●さまざまな技法のアニメーション、映像／Webデザイン／インターフェースデザイン

□ミドリプロジェクト
□Element・structure I
□Element・structure II
□碧、UZU

前﨑　信也　准教授**　（Ph.D. in History of Art）

■美術史、工芸文化史、文化情報学
●近代窯業史／近代美術工芸史／現代工芸批評／文化財デジタル・アーカイブ

△『大正時代の工芸教育』
△『松林鶴之助 九州地方陶業見学記』
△『写しの力:創造と継承のマトリクス』
△『風俗絵画の文化学:都市をうつすメディア』
△『イメージデータベースと日本文化研究』
△『Fukami: Purity of Form』
□明治期における清国向け日本陶磁器
□ Naturalism in Meiji Period Ceramics

渡邊　敬子　准教授*　［博士（学術）］

■アパレル体型学、被服構成学
●Mass Customize Clothing のための人体の3次元形状計測とその型紙設計への応用／着衣・脱衣動作解析に基づくバリアフリーデザインの衣服設計／幼児用衣服設計のための幼児のサイズおよび3次元形状の解析

□Analysis of three dimensional torso shape and bodice pattern shape of young Japanese Women
◇高齢女性の肩関節の可動域と着衣動作との関連
◇高齢女性の前あき上衣の構造と着衣動作および着やすさとの関係

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文　◇共著論文（その他著書・論文についてはHPを参照してください）
＊＊＊は博士前期・後期指導教員　＊＊は博士前期指導（補助）教員　＊は博士前期授業担当教員

生活福祉学専攻

太田　貞司　教授＊＊　［博士（学術）］

■社会福祉学、介護福祉、高齢者福祉
●介護福祉／ケアワーク／
介護職チームとそのリーダー／認定介護福祉士／
医療と介護・福祉の協働／地域包括ケアシステム

△『地域ケアを拓く介護福祉学』（全6巻監修）
△『地域ケアシステム・シリーズ』（全4巻編集代表）
△（共編）『介護福祉思想の探求』
□一番ヶ瀬社会福祉論と介護福祉論
□フィンランドのラヒホイタヤ
―ケアワーカーの再考―
□介護教育からみた介護福祉士のキャリアアップ
□ホームヘルプサービスと「医療対象者」
―「医療対象者」へのホームヘルプサービス導入の経緯―

鹿間　久美子　教授＊＊　［博士（教育学）］

■学校保健、養護教諭教育、性教育学
●学校保健と養護教諭について／
養護教諭と性教育について／
学校における性の健康教育

△『性の健康教育と養護教諭の役割
―L.A.カーケンダールの性教育論を基にした理論と実践の研究―』
□わが国における性教育の振り子論
―第二次世界大戦以降を中心にして―
◇The Role of School Health Rooms during Disasters and their Facility,s Medical Medical Resources : A Post-Quake Survey Report by Yogo Teachers in Niigata Prefecture

下村　雅昭　教授＊＊　［博士（医学）］

■運動生理学、健康科学
●生活習慣病と運動および休養／
心臓病患者の包括的リハビリテーション／
特別支援教育／ゆりかごから墓場までの健康教育

□養護教諭養成課程を希望する学生の
志望動機と養成科目に対する関心度
◇Sports programs for patients with ischemic heart disease in japan.
◇「新版 LD、ADHD等の
心理的擬似体験プログラム」使用による
大学生の障害理解に対する効果
―養護教諭養成課程の女子学生を対象に―

高橋　秀典　教授＊＊　［博士（医学）］

■神経学
●高次脳機能（空間認知、記憶）／
ストレスと自律神経

◇空間関係の言語的理解の障害を示した左頭頂葉損傷例
―心的空間内のイメージ操作能力との関連―
◇アルツハイマー病の早期診断における選択式回転課題の有効性の予備的研究
◇音楽聴取と歌唱による心理的効果の比較
―大学生の調査から―

門間　敬子　教授＊＊　［博士（農学）］

■生活科学・食品化学
●京野菜の機能性成分について／
食生活に影響を及ぼす要因について

□大学生・短大生の清涼飲料水に対する意識
◇Crystal structure of the glycosidase family 73 peptidoglycan hydrolase FlgJ
◇Kinetic study on the dissociation of a dimeric protein, Streptomyces Subtilisin Inhibitor

鈴木　依子　准教授＊＊

■社会福祉学、ソーシャルワーク
●ミクロレベルのソーシャルワーク実践／
高齢者の社会関係や主観的幸福感の研究

□環境移行後の高齢期の女性の友人関係と主観的幸福感
―施設入居前後の生き方の差に着目して―
□施設入居後の高齢女性の主観的幸福感について
―友人関係と高齢期の生き方を中心に―
◇ホームヘルパーが自分の判断で行っていること
―自由記述からみた訪問介護計画書によらない援助の内容と理由―
◇The effect of awareness on the outcome of oral health performed by home care service providers

中村　亜紀　准教授＊　［博士（保健学）］

■保健学、社会保障
●高齢者における要介護状態の変化と
その要因に関する研究／
高齢者の非侵襲的栄養評価指標に関する研究／
がん医療における専門スタッフの効果的な配置や支援のあり方に関する研究

◇A Three-Year-Follow-up study on the Change in Physical and Mental Functions of the Aged by the Level of ADL
◇わが国の介護労働の方向性
―外国人介護士受け入れ意識調査から―
◇外国人介護士受け入れに関する
意識調査報告書

遠藤　清江　講師＊

■社会福祉学、介護福祉学
●生活文化と介護福祉援助の関係／
異文化間介護の構築／
日系人及び外国籍高齢者へのソーシャルサポート

△『日系高齢者の生活と福祉サービス』
□農村地域での異文化背景による
家族介護の実態（その3）
―アジア系外国人花嫁の聞き取りから―
□介護における国際化の現状と課題

千葉　真理子　講師＊

■社会福祉
●福祉サービス供給システムに関する研究／
NPO（非営利組織）の組織運営／
社会サービス原理に関する研究

□An Investigation into Acceptance of Disabled Children in Out-of-school Care Program
◇1年間の包括心臓リハビリテーションに参加した
維持期高齢者における
身体機能の変化とその性差
◇心臓リハビリテーション参加者の抑うつと
社会経済状況に関する調査

博士後期課程

生活環境学専攻

今井　佐恵子　教授＊＊＊　［博士（農学）］
太田　貞司　教授　［博士（学術）］（博士後期授業担当教員）
片山　勢津子　教授＊＊＊　［博士（学術）］
川添　禎浩　教授＊＊＊　［薬学博士］
河村　幸雄　教授＊＊＊　［農学博士］
北尾　端雅　教授＊＊＊　［博士（工学）］
斎藤　英俊　教授＊＊＊　［工学博士］
中山　玲子　教授＊＊＊　［農学博士］
成実　弘至　教授　（博士後期指導補助教員）
八田　一　教授＊＊＊　［理学博士］
諸岡　晴美　教授＊＊＊　［学術博士］
山岡　俊樹　教授＊＊＊　［学術博士］
寄本　明　教授＊＊＊　［博士（医学）］

※専門分野などについては前記参照

授業担当教員は指導教員として選べません。

社会規範・文化研究領域

博士前期・後期指導教員

霜田　求 教授　［博士（文学）］

■哲学、倫理学
●生命倫理学／環境倫理学／社会哲学

△『生命と科学技術の倫理学』
□遺伝学的検査ビジネスをめぐる倫理と法:
祖先検査と子ども才能検査を中心に
□欧州におけるDTC遺伝学的検査規制を
めぐる議論
□先端医療をめぐる倫理
□Brain, Mind, Body and Society:
Autonomous System in Robotics

松本　充豊 教授　［博士（政治学）］

■政治学
●東アジア比較政治／現代台湾政治／
政治経済論

△『選挙と民主主義』
△『北東アジアの市民社会―投企と紐帯』
△*Presidents, Assemblies and Policy-Making in Asia*.
□台湾の半大統領制における政策決定
―「両岸経済協力枠組み協定（ECFA）」の事例
を中心に
□台湾における政権交代と検察制度の独立性

亘　明志 教授

■社会学
●文化社会学／戦争の社会学／メディア論／
差別問題

△『記号論と社会学』
△『身体・メディア・権力』
□F.ガタリの記号論的ダイヤグラムとM.フーコーの
言説分析
□戦時朝鮮人強制動員と統治合理性
□近代と剥き出しの生
～ハイチ革命と人権宣言をめぐって～
□身体とメディア―身体のパラドックスをめぐって―
□ビデオ・パフォーマンス実験とテクスト分析
□消費社会のレトリック
―広告の言語行為と記号の消費―

水野　義之 教授　［理学博士］

■物理学（核物理学）、
情報学（情報教育・社会情報学）
●素粒子・クォークと時空の物理学／
環境放射線／情報学的転回と統合学

△『原発の安全と行政・司法・学界の責任』
□福島原発事故と低頻度・大規模災害のリスク予測
◇京都女子大学における全学情報教育とそれを
支える情報システムの変遷に関する考察

博士前期指導（補助）教員

濱﨑　由紀子 教授　［Ph.D.］（博士後期授業担当教員）

■精神医学、精神病理学
●統合失調症の児童期における
サブクリニカルな特性
（精神医学、児童思春期、統合失調症）

□The possibility of quite early detection of
schizophrenic children.
□統合失調症の児童期におけるサブクリニカルな
心理・行動特性について
□虐待事案に対する介入システムの
問題点と今後の展望
―被虐待児童のトラウマケアを中心に―

宮下　健輔 教授　［博士（工学）］

■情報工学
●ネットワーク管理・運用手法に関する研究

□既存システムのマッシュアップによる
休講情報通知機構の構築と試験運用
□A Wireless LAN Usage Trends Survey on
Campus for Evacuation Planning
◇京都女子大学における全学情報教育と
それを支える情報システムの変遷に関する考察
◇Open DirectoryとActive Directoryを
併用したコンピュータ教室運用
◇Examples of Disaster Recovery Activities
using Information and Communication
Technology in Japan

工藤　正子 教授　［博士（学術）］

■文化人類学
●国境間の人の移動／ジェンダー／家族／
日本／パキスタン／英国／イスラーム

□移民女性の就労にみるエスニシティとジェンダーの
交差: 在英パキスタン人ムスリム女性の事例から
□"Pakistani Husbands, Japanese Wives:
A New Presence in Tokyo and beyond"
□関東郊外からムスリムとしての居場所を築く:
パキスタン人男性と日本人女性の国際結婚の事例
から

江口　聡 教授

■哲学、倫理学
●生命倫理学／情報倫理学／性の倫理学／
メタ倫理学／功利主義／キェルケゴール

□性・人格・自己決定:
セックスワークは性的自由の放棄か
□ドン・マーキスの反妊娠中絶論とその批判
□国内の生命倫理学における
「パーソン論」の受容

正木　大貴 准教授　［博士（医学）］

■臨床心理学、精神医学
●心理療法／物語と心理臨床

△『専門医のための精神科臨床リュミエール26
依存症・衝動制御障害の治療』
△『脳とこころのプライマリケア8　依存』
□嗜癖と家族―過食症の例を手がかりに―

博士前期授業担当教員

藤井 隆道 准教授　［博士（文学）］

■インド哲学・仏教学、宗教学
●古典インドの言語論・存在論・人間論／
現代社会と宗教・仏教

□Cooperation or Nonintervention?: Two Types
of Apologetic Arguments in Indian Thought
□徳福不一致の問題とインド思想
―苦に与えられた説明―
□Sentence Meaning as a Causal Process

中山　貴夫 准教授　［博士（工学）］

■情報工学
●ネットワーク監視／トラフィック観測

□拡張性を考慮したWiMAXルータによるイベント
ネットワーク構築
□小型PCとソフトウェアルータによるイベントネット
ワーク構築の検討
◇A WWW Server Benchmark System in IPv6
Environment
◇OpenDirectoryとActiveDirectoryを併用した
コンピュータ教室運用
◇京都女子大学におけるサーバ仮想化基盤の構築

中田　兼介 教授　［博士（理学）］

■動物生態学、動物行動学
●生態／環境

□Female genital mutilation and monandry in an
orb-web spider
□食う食われる中でのクモの「見た目」
◇Body-colour variation and its effect on predation
success in an orb-web spider

丸野　由希 講師　［博士（工学）］

■情報科学
●機械学習／生命数理

△『楽しいプログラミング［増補改訂新版］
―オブジェクト指向言語Rubyを使って―』
□RubyコミュニティとRails Girls
―オープンソースを支えるコミュニティと運動―
◇Energy-Efficient User-State Recognition
Method Using Wavelet Transform and
Singular Value Decomposition
（平成30年度より博士前期指導補助教員就任予定）

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文　◇共著論文（その他著書・論文についてはHPを参照してください）

国際コミュニティ研究領域

博士前期・後期指導教員

戸田　真紀子　教授　［博士（法学）］

■比較政治学
●アフリカ地域研究

△『貧困、紛争、ジェンダー
—アフリカにとっての比較政治学—』
△『アフリカと政治　紛争と貧困とジェンダー
—わたしたちがアフリカを学ぶ理由—改訂版』
△『国際関係のなかの子どもたち』
△『国際社会を学ぶ』

鳥谷　一生　教授　［博士（商学）］

■国際経済論、国際金融論
●国際通貨金融システム論／東アジア経済論

△『グローバル金融資本主義のゆくえ』
△『国際通貨体制と東アジア』
□安定した国際通貨制度をもとめて
—国連・国際通貨金融システム改革専門委員会『報告書』を読んで—
□中国・金融「自由化」と人民元「国際化」の政治経済学

嘉本　伊都子　教授　［博士（学術）］

■歴史社会学
●社会学／国際結婚／歴史社会学／比較家族・社会史

△『国際結婚の誕生』
△『国際結婚論!?　現代編・歴史編』
□"Creating Spatial Hierarchies:The Koseki, Early International Marriage and Intermarriage"
□国際結婚と家族・都市・村落
—日本型モダニティへの希求

松田　哲　教授（博士後期指導補助教員）

■国際関係論
●南北問題史／途上国開発理論／スリランカ地域研究

△『人間存在の国際関係論
—グローバル化のなかで』
△『地域紛争の構図』
□スリランカ:2つの言語ナショナリズムの対立
—BC協定・1958年の民族暴動・バンダーラナーヤカの死

博士前期授業担当教員

澤　敬子　准教授

■法社会学
●マイノリティ／ジェンダー／法曹とジェンダー

△『法曹継続教育の国際比較』
□司法におけるジェンダー・ダイバシティと権利の実質化
□社会が作る法、法が変える社会
—ジェンダーとマイノリティを手がかりに法社会学を学ぶ
□スペイン護民官聞き取り調査報告
—ジェンダー・バイオレンス問題を中心に—

地域コミュニティ研究領域

博士前期・後期指導教員

中道　仁美　教授　［博士（農学）］

■農村社会学、女性学
●農山漁村の人とくらし／農山漁村のジェンダー／EUの地域政策

△『復興を取り戻す』
△『スウェーデン北部の住民組織と地域再生』
△『From Community to Consumption』
△『女性からみる日本の漁業と漁村』

西尾　久美子　教授　［博士（経営学）］

■経営学
●経営組織論、組織行動論、人的資源管理論

△『京都花街の経営学』
△『舞妓の言葉—京都花街、人育ての極意—』
□エンターテイナーの実践知
—タカラジェンヌの事例—
□伝統文化専門職のキャリア形成
—能楽師の事例—

諏訪　亜紀　教授　［Ph.D］

■環境開発論、環境社会論
●再生可能エネルギー政策

□気候変動問題対策としての再生可能エネルギー政策
—アメリカ太陽光発電権を巡る政策課題認識から—
□Soft Energy Paths in Japan: a Backcasting Approach to Energy Planning Climate

---

博士前期指導（補助）教員

掛谷　純子　准教授

■会計学
●地方自治体や非営利組織の管理会計

△『京都企業 歴史と空間の産物』
△『新地方公会計制度の徹底解説』
□地方自治体における行政評価の目的とその内容
—財務会計と管理会計の視点から—
□「管理会計手法としての行政評価と職員の意識」

森久　聡　准教授　［博士（社会学）］

■都市社会学、環境社会学、社会調査法
●地域再生／まちづくり／労働災害／空間と記憶

△『〈鞆の浦〉の歴史保存とまちづくり』
□「環境社会学における労働災害研究の現代的意義と可能性
—三池炭塵爆発CO中毒事故の飯島伸子調査データの二次分析から」
□「伝統港湾都市・鞆における社会統合の編成原理と地域開発問題
—年齢階梯制社会からみた『鞆港保存問題』の試論的考察」

城戸　英樹　准教授　［博士（法学）］

■行政学、地方自治論
●地方分権改革の政治過程／平成の大合併／カナダの政治と行政

△『望ましい地方税のあり方』
△『地方分権の国際比較』
□中央地方関係における政党ルートの役割：財政移転改革の日本カナダ比較

博士前期授業担当教員

坂爪　聡子　教授　［博士（経済学）］

■家族経済学
●人口問題／女性就業・出生・結婚

□経済的支援が子ども数と女性の労働供給に与える影響
—保育サービス利用への補助と児童手当に関するモデル・シミュレーション分析—
□少子化対策は何を優先すべきか?
—保育サービス充実、労働時間短縮、および男性の育児参加支援
□女性の労働供給と子ども数が同時に増加する条件
—家計内生産モデルによる分析—

奥井　亜紗子　准教授　［博士（学術）］

■家族社会学、農村社会学
●家族変動／移動／農村／地方社会

△『農村—都市移動と家族変動の歴史社会学
—近現代日本における「近代家族の大衆化」再考—』
□「地域エリート」の存立構造とその変遷
—昭和30年代農業高校卒OBの事例を通して—
□学歴主義の浸透と農村長男の都市移動
—兵庫県篠山市同郷団体会員調査をもとに—

この教員組織は平成29年6月現在の情報です。
最新のものはHP（URL http://www.kyoto-wu.ac.jp/gakubu/graduateschool/shakai/sousei.html）の教員一覧をご確認ください。

授業担当教員は指導教員として選べません。

専任教員

泉　克幸　教授**　［博士（法学）］

■知的財産法
●知的財産法と市場／知的財産法と競争政策

△小野昌延編『新・注解　不正競争防止法〔第3版〕（上）（下）』（青林書院、2012年）〔執筆担当部分：「2条1項3号」「2条4項」「2条5項」「19条1項5号」〕
□「競争政策と知的財産政策の協働の一場面—標準必須特許に基づく侵害訴訟とその限界」（同志社大学知的財産法研究会編、知的財産法の挑戦70頁、弘文堂、2013年）
□「電子書籍市場の発展と著作権法—競争政策の観点から」（根岸哲先生古稀記念競争法の理論と課題—独占禁止法・知的財産法の最前線、665頁、有斐閣、2013年）

市川　ひろみ　教授**

■国際関係論、平和研究
●兵役拒否／ミクロの視点からの紛争研究

△『兵役拒否の思想—市民的不服従の理念と展開—』
□Children after the war: Long lasting sufferings and invisible threats
□「『対テロ戦争』の兵士と家族」
□「傷つく兵士—戦場の被害者—『対テロ戦争』の兵士と家族」

岡田　愛　教授**

■民法総則
●意思表示／錯誤論

△『同一性の錯誤』（一学舎、2015年）
□「無限連鎖講の破産管財人による不当利得返還請求と不法原因給付」（京女法学第7号、193頁、2014年）
□「和解と錯誤—大阪高判平成24年6月21日、高松高判平成24年9月13日二つの過払金返還訴訟を題材にして—」（京女法学9号、117頁、2016年）

志津田　一彦　教授**　［博士（法学）］

■商法、企業法
●海事法／現代的商取引法／多国籍企業法／ビジネス・ロー

△『船舶先取特権の研究』（成文堂、2010年）
△『論点ビジネス・ロー』（青林書院、2013年）
□「ディスクレの評価と信用状債務」永井和之先生古稀記念（企業法学の論理と体系、369～400頁、中央経済社、2016年）

手嶋　昭子　教授**

■ジェンダーと法、法社会学、家族法
●親密圏における暴力と法／暴力被害者支援における当事者の権利主体性／社会調査と研究倫理

△『親密圏における暴力—被害者支援と法—』（信山社、2016）
□「ジェンダー不平等とドメスティック・バイオレンス」（法社会学82号、93-110頁、2016年）
□「DV被害者支援における自治体間格差—法政策と実施のギャップの一例として」（法社会学72号、201-223頁、2010年）

松塚　晋輔　教授**　［Mag.rer.publ.（ドイツ）／博士（法学）］

■行政法
●行政処分論／自治体合併／民営化論

△『民営化の責任論』（成文堂、2003年）
△『ドイツ連邦州における自治体合併の考察—メクレンブルク・フォアポメルン州憲法裁判所による2007年違憲判決の検討—』曽我部真裕・赤坂幸一編（大石眞先生還暦記念『憲法改革の理念と展開（上巻）』信山社、367−392頁、2012年）
□「指定確認検査機関の賠償責任主体性」（京女法学6号、1−34頁、2014年）

南野　佳代　教授**

■ジェンダーと法、法社会学
●司法におけるジェンダー・バイアス／法曹とくに司法のジェンダー研修／司法制度

△（編著）『法曹継続教育の国際比較—ジェンダーで問う司法』（日本加除出版、2012年）
△（共著）『新入生のためのリーガル・トピック50』（法律文化社、2016年）
□「司法におけるジェンダーバイアスへの取組みと司法教育」（法社会学77号、2012年）

舩越　優子　教授**　［Master of Laws（アメリカ）／博士（法学）］

■民事法、英米法
●契約／不法行為

□「通信社からの配信に基づく記事を掲載した新聞社の名誉毀損による不法行為責任の成否」（法律時報87巻4号、2015年）
□「自己信託の設定 Estate of Heggstad」（アメリカ法判例百選別冊ジュリスト213号、2012年）
□「コモン・ローにおける信義誠実の原則」（博士論文、神戸大学大学院法学研究科、2008年）

山本　光英　教授**

■刑法学
●ドイツ刑法／謀殺罪／結果的加重犯

△『ドイツ謀殺罪研究』（尚学社、1998年）
□「結果的加重犯の共同正犯」（北九州市立大学法政論集38巻4号、2010年）
□「結果的加重犯の未遂について」（北九州市立大学法政論集41巻3=4合併号、2014年）

桜沢　隆哉　准教授*

■商法、会社法、保険法、金融法、商取引法
●公開会社における取締役の義務と責任／第三者のためにする契約における生命保険金受人の法的地位／損害保険契約と損害賠償責任との関係

□「経営判断原則の理論的基礎（1）～（4・完）」（京女法学第1号、159−179頁、2011年、第2号、117−141頁、2012年、第3号、25−49頁、2013年、第5号、99−189頁、2013年）
□「生命保険契約と相続との関係—保険契約法理と相続法理との交錯」（生命保険論集181号、25−50頁、2012年）
□「保険代位の法的性質—なぜ保険者は権利を取得するのか—」（法学会雑誌首都大学東京52巻1号、193−229頁、2011年）

■専門分野　●研究テーマ　△著書　□単著論文（その他著書・論文についてはHPを参照してください）
**は修士課程指導教員　*は修士課程授業担当教員

前田　直子　准教授 **［博士（人間・環境学）］

■国際人権法
●国連における人権保障制度の実効性／欧州地域における人権保障制度の発展

□「外国人の在留管理における児童の権利条約の適用可能性
—日本政府の解釈宣言に関する『解釈』をめぐって」（国際法外交雑誌第113巻第4号、2015年）
□Reinforcement of the Execution of Judgment of the European Convention on Human Rights：Development and Challenges（Journal of Law and Politics, Nagoya University, vol. 258,2014）.
□「人権条約における個人申立・通報制度の発展と課題
—国際的実施と国内的実施の相乗効果による実効性確保—」（博士論文、京都大学、2010年）

的場　朝子　准教授 *

■国際私法、国際民事手続法
●保全命令の国際裁判管轄／企業の国際的な不法行為と国際裁判管轄など

□「欧州司法裁判所による保全命令関連判断
—ブリュッセル条約24条（規則31条）の解釈」（神戸法学雑誌58巻2号、99頁以下、2008年）
□「保全命令の国際裁判管轄に関する一考察」（国際私法年報10号、98頁以下、2009年）
□"The Systems Enforcing Patent Rights beyond Borders: In the EU States"（*Kobe University Law Review*, No.43, pp. 17-41 , 2010）
□『多国籍企業による『不法行為』に対して
民事的救済を求める訴えの国際裁判管轄と
人権の保護——EUにおける状況を中心として」（国際法外交雑誌115巻1号、20頁以下、2016年）

山田　恵子　准教授*

■民事訴訟法、法社会学、民事紛争処理論
●裁判外紛争処理（仲裁・調停・法律相談）

△（共著）『振舞いとしての法—知と臨床の法社会学』（法律文化社、2016年）
［「リーガル・カウンセリング論の再文脈化」を執筆］
△（共著）『新入生のためのリーガル・トピック50』（法律文化社、2016年）〔「すれ違う想い」を執筆〕
□「エスノメソドロジー・会話分析は≪法≫をどう見るのか」（法社会学83号、2017年）